

2020年12月25日の出来事を皆さんにお知らせします。

当日の13時頃、JR東海労新幹線関西地本事務所の前を約30名程のユニオン役員(現場管理者・本部・地本・分会)が包囲しました。その中にA君が拘束されていました。

異様な状況下でA君は、「今回の(JR東海労への)加入の話は無かったことにして下さい」と言って、涙ながらに頭を下げました。A君は現場管理者に退職を強要されて、退職に追い込まれていました。ユニオン役員は、この事実を黙認していました。

A君に対する退職の強要に対して、職場管理者と関西支社に抗議をして、A君に退職を思いとどませたのはJR東海労役員でした。そしてA君は会社に退職の意思を撤回してJR東海労への加入手続きを行ったのです。

ところが、A君が会社に退職の意思を撤回してJR東海労への加入を決意していることを知った途端に、ユニオン役員があたかもA君のことを心配しているかの如く蠢きだしたのです。彼らが誰の指示で蠢いているのかは見え見えです。

会社がA君に退職を強要したことがJR東海労役員にバレてしまったことと、A君がJR東海労に加入する決意であることを知り慌てふためいたユニオン役員に「今頃になって何を心配しているふりをしているんだ」と問い質すと、ユニオン役員は、「その時は知らなかった」とか「会社には抗議した」と必死に言い訳をしていました。いくら言い訳をしようと、ユニオン役員も会社がA君に退職強要を行ったことを認めざるを得なかったのです。

今まで多くのユニオン組合員が会社・現場管理者からのパワハラや恫喝を受けています。そしてユニオン役員に無視をされ、誰にも頼れずに、心と命を犠牲にしてきました。

同種の問題はおさまるどころかエスカレートしています。

なぜなら、会社・現場管理者とユニオン役員が犯罪行為を繰り返し、エスカレートさせているからです。それは、私たちJR東海労への相談が相次いでいることから明らかです。

私たちはA君が真実を見失わずに、今後も元気に奮闘することを願っています。これからも困ったことがあれば、いつでも相談にのります。

私たちJR東海労は、これからも労働者の利益を第一に考えて、会社の不法行為とユニオン役員の反労働者的な行為を絶対に許しません。

仲間の皆さん、本年も残すところあと僅かです。

来年も、異常な社風を変えていくため、共に奮闘しましょう！

2020年12月26日

JR東海労働組合新幹線関西地方本部